

# 文化庁及び株式会社地域経済活性化支援機構（REVIC）の 包括的連携協定の締結について

平成 30 年 10 月 10 日  
文化庁文化資源活用課

## 1. 背景

我が国の多様な文化財は、地域のアイデンティティやまちづくりの核として、地域活性化のための重要な資源となり得るものであるが、文化財の毀損・劣化が放置されていたり、情報発信が十分でなかったり、来訪者目線での環境整備がなされていなかったりするため、文化財から派生する社会的・経済的な価値を地域の発展に活かすきれていないケースが見受けられる。

このため、文化財やその周辺環境の計画的な保存・活用に取り組むことにより、文化財とそれを育んだ地域の持続的な維持発展を図っていくため、文化財を活かした地域経済活性化モデルの構築に向けて、文化庁と REVIC は包括的な連携を進めることとする。

## 2. 具体的な連携内容

文化財に係る高度な専門性や知見を有する文化庁と、地域経済活性化に資する事業活動の支援を行う REVIC が、それぞれの有する権限・機能を最大限活用し、地域の文化財について情報交換や意見交換、具体的な調整等を行うことにより、文化財を活かした地域経済活性化モデルの構築を目指す。

### ①国指定文化財「龍河洞」の観光資源としての魅力向上

史跡及び天然記念物に指定されている高知県の鍾乳洞「龍河洞」について、REVIC より初めて設備投資を実施予定。「龍河洞」の有する文化財としての歴史的・文化的価値を継承しつつ、その魅力が観光客に一層伝わるよう、観光資源としての磨き上げに連携して取り組む。

### ②千葉県香取市佐原における日本遺産認定ストーリーを活かした経済活性化

当該市においては、これまで古民家の宿泊への活用等を実施。今後はこれに加え、外国人等もターゲットとしつつ、観光客が「江戸」を体感できるような事業を新たに実施するなど、文化庁が推進する日本遺産のストーリーを活かした経済活性化モデルの構築を目指す。

### ③全国的な新ファンドを通じた文化財の磨き上げ

REVIC において設立検討を明日発表予定の全国的な新ファンドを通じ、観光資源としての文化財の一層の磨き上げを図り、観光インバウンドの増加を目指す。